



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社 キトー

上場取引所 東

コード番号 6409 URL <https://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理本部長 (氏名) 遅澤 茂樹

TEL 03-5908-0161

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	42,753	△2.3	3,947	△15.9	3,482	△16.2	2,131	△32.8
2019年3月期第3四半期	43,737	13.0	4,695	80.1	4,153	101.2	3,169	101.1

(注)包括利益 2020年3月期第3四半期 1,581百万円 (△50.7%) 2019年3月期第3四半期 3,205百万円 (58.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	104.24	103.97
2019年3月期第3四半期	155.33	154.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	62,405	27,272	42.2
2019年3月期	62,078	26,687	41.4

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 26,311百万円 2019年3月期 25,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00
2020年3月期	—	24.00	—		
2020年3月期(予想)				24.00	48.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	△2.0	6,000	△6.4	5,500	△4.3	3,700	△9.0	180.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	27,048,200 株	2019年3月期	27,048,200 株
2020年3月期3Q	6,576,568 株	2019年3月期	6,631,768 株
2020年3月期3Q	20,450,054 株	2019年3月期3Q	20,407,712 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、米中通商政策等の動向懸念から、企業の設備投資に慎重な見方が広がりました。当社を取り巻く事業環境は、日米におけるインフラ投資需要の底堅さと、中国においては内需向け成長産業の投資需要が継続しました。

5カ年の中期経営計画の4年目となる当連結会計年度は、製品・サービスの品揃えを拡充し、投資需要を着実に取り込みつつ、各施策を実行してまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、インフラ、民間投資需要ともに底堅く推移し、売上高は42,753百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は3,947百万円（前年同期比15.9%減）、経常利益は3,482百万円（前年同期比16.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,131百万円（前年同期比32.8%減）となりました。売上高、各段階利益とも、計画通り進捗しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。当社グループは、当社及び連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
日本	20,305百万円 (8.6%減)	4,281百万円 (12.7%減)
米州	20,821百万円 (0.1%増)	1,183百万円 (8.9%増)
中国	5,862百万円 (5.7%増)	813百万円 (13.5%増)
アジア	2,229百万円 (31.6%減)	66百万円 (82.2%減)
欧州	2,582百万円 (42.5%増)	△157百万円 (前年同期は30百万円の営業損失)
その他	1,142百万円 (22.8%減)	△15百万円 (前年同期は37百万円の営業利益)

(日本)

国内では、民間設備投資に減速感はあるものの、インフラ関連ほか、仮設需要が底堅く推移しました。輸出については、海外子会社の在庫補充が前年度で一巡し、今期の出荷を抑制しました。その結果、売上高は20,305百万円（前年同期比8.6%減）、営業利益は4,281百万円（前年同期比12.7%減）となりました。

(米州)

米国は対中国問題、及び政権運営に不透明感が漂うものの、民間及び公共設備投資ともに底堅く推移し、売上高は20,821百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は1,183百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

(中国)

中国市場においては、景気減速により、全体の設備投資マインドは弱含むものの、安全志向の高まりと好調業種のニーズを着実に捉えることにより、シェア拡大を継続しました。その結果、売上高は5,862百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は813百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

(アジア)

東南アジアにおいては米中貿易摩擦の煽りを受け、自動車関連産業をはじめとした輸出が減少、また韓国、台湾の景気減速感は顕著で、売上高は2,229百万円（前年同期比31.6%減）、営業利益は66百万円（前年同期比82.2%減）となりました。

(欧州)

欧州市場の景気減速感が漂うものの、業種を絞った拡販施策に注力、加えて前連結会計年度末にチェーン関連製品を製造するイタリア子会社を連結したことから、売上高は2,582百万円(前年同期比42.5%増)となりました。利益面では157百万円の営業損失(前年同期は30百万円の営業損失)となりました。

(その他)

当セグメントは現在、豪州のみで構成されており、中国経済減速の影響によって売上高は1,142百万円(前年同期比22.8%減)、利益面では15百万円の営業損失(前年同期は37百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は62,405百万円と前連結会計年度末に対し327百万円増加いたしました。これは、受取手形及び売掛金の減少2,157百万円、商品及び製品の増加1,405百万円、投資有価証券の増加1,599百万円等によるものです。

負債合計は35,133百万円と前連結会計年度末に対し257百万円減少いたしました。これは、短期借入金の増加1,019百万円、未払費用の減少950百万円、長期借入金の減少761百万円等によるものです。

純資産合計は27,272百万円と前連結会計年度末に対し585百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加1,150百万円、繰延ヘッジ損益の減少62百万円、為替換算調整勘定の減少549百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,678	8,631
受取手形及び売掛金	12,587	10,430
商品及び製品	13,337	14,743
仕掛品	1,231	1,335
原材料及び貯蔵品	3,356	3,318
その他	1,396	1,547
貸倒引当金	△63	△44
流動資産合計	40,524	39,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,385	4,294
機械装置及び運搬具(純額)	4,666	4,183
その他(純額)	2,232	3,438
有形固定資産合計	11,283	11,915
無形固定資産		
のれん	1,650	1,401
その他	4,442	4,019
無形固定資産合計	6,093	5,420
投資その他の資産		
投資有価証券	801	2,400
繰延税金資産	1,805	1,518
その他	1,569	1,189
投資その他の資産合計	4,176	5,108
固定資産合計	21,554	22,444
資産合計	62,078	62,405

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,483	6,487
短期借入金	2,844	3,863
1年内返済予定の長期借入金	3,988	4,225
未払費用	3,488	2,538
未払法人税等	1,065	393
賞与引当金	843	761
その他の引当金	394	628
その他	1,074	1,543
流動負債合計	20,183	20,442
固定負債		
長期借入金	11,962	11,201
役員退職慰労引当金	221	—
退職給付に係る負債	1,996	2,069
その他	1,027	1,419
固定負債合計	15,207	14,691
負債合計	35,391	35,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,214	5,234
利益剰余金	21,863	23,013
自己株式	△5,725	△5,678
株主資本合計	25,328	26,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	52	△10
為替換算調整勘定	552	3
退職給付に係る調整累計額	△242	△227
その他の包括利益累計額合計	362	△234
新株予約権	50	62
非支配株主持分	945	898
純資産合計	26,687	27,272
負債純資産合計	62,078	62,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	43,737	42,753
売上原価	27,328	26,672
売上総利益	16,408	16,080
販売費及び一般管理費	11,712	12,133
営業利益	4,695	3,947
営業外収益		
受取利息	28	30
作業くず売却益	37	26
その他	121	83
営業外収益合計	187	140
営業外費用		
支払利息	299	257
持分法による投資損失	138	97
為替差損	96	123
その他	194	126
営業外費用合計	729	605
経常利益	4,153	3,482
特別利益		
固定資産売却益	167	7
特別利益合計	167	7
特別損失		
固定資産売却損	45	1
固定資産除却損	—	51
減損損失	39	—
特別損失合計	85	52
税金等調整前四半期純利益	4,235	3,436
法人税等	965	1,226
四半期純利益	3,269	2,209
非支配株主に帰属する四半期純利益	99	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,169	2,131

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,269	2,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
繰延ヘッジ損益	△11	△62
為替換算調整勘定	△51	△572
退職給付に係る調整額	20	14
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	△8
その他の包括利益合計	△64	△628
四半期包括利益	3,205	1,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,128	1,534
非支配株主に係る四半期包括利益	76	46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が903百万円、流動負債の「その他」が251百万円及び固定負債の「その他」が364百万円増加し、流動資産の「その他」が1百万円及び投資その他の資産の「その他」が285百万円減少しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	11,401	20,727	5,062	3,257	1,809	1,479	43,737	—	43,737
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10,804	72	482	0	2	—	11,362	△11,362	—
計	22,205	20,800	5,545	3,258	1,811	1,479	55,099	△11,362	43,737
セグメント利益 又は損失(△)	4,901	1,086	716	372	△30	37	7,085	△2,389	4,695

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,389百万円には、セグメント間取引消去△625百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,764百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社の子会社であるARMSSEL MHE PVT. LTD. (「アジア」セグメント)におけるのれんについて、当初想定していた超過収益力が見込めなくなったと判断し、帳簿価額の全額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において39百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	11,096	20,765	5,338	2,229	2,181	1,142	42,753	—	42,753
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,209	55	524	—	401	—	10,190	△10,190	—
計	20,305	20,821	5,862	2,229	2,582	1,142	52,943	△10,190	42,753
セグメント利益 又は損失(△)	4,281	1,183	813	66	△157	△15	6,171	△2,224	3,947

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,224百万円には、セグメント間取引消去△337百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,886百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。